

文化の仲間

京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間 会報 No.80 2017 年 12 月 16 日発行
川崎市幸区古市場 2-109 京浜協同劇団内 TEL 044-511-4951 郵便振替 00250-3-18369
ホームページ：http://www.keihinkyoudougekidan.com/bunkano-nakama/

京浜協同劇団 第 91 回公演

別役実の不条理劇を初めて上演

2017 年 11 月 17 日～25 日の間、京浜協同劇団で、初めての取り組みとなる別役実の不条理劇「病気」(10 ステージ) が上演されました。出演者、観劇された方に感想を寄せていただきました。

「病気」公演を終えて

あの緊張。怖かった。

田中 耕一

私にとって 3 作品目の芝居が、別役実さんの「病気」となりました。

私は、昨年 1 月より京浜協同劇団に参加させていただき、50 歳にして初めてとなる経験を数多くさせていただきました。その中でも今回の作品「病気」は、特に貴重な経験をさせていただいたと感じています。理解し難い内容や覚え難いセリフ。これを一つ一つ紐解いて行く作業は、1 人で寂しく、内容が分からない辛さは、自分との戦いでもあったと感じていました。

「このセリフはこういう意味か。」と紐解いたと思っても、別のセリフでは違うメッセージが……。というように一歩進んで二歩下がる様な状態を経て、何とか公演へとたどり着けたことは、私にとっては大きな経験となりました。

実は、私は、この芝居は不思議な世界だと思っておりました。しかし、観劇いただいた方からは、「我が家の出来事のようなだ」というご意見もいただき、身近に感じた方もいらっしゃる、直ぐ近くにあることだっ



あなた病気じゃありません？ (写真：©長坂クニヒロ・以下同)

たのかと、公演が終わってから認識を改めています。現実に近い出来事の見方を少し変えて、面白く表現した作品だったのだと。

さて、今回の「病気」公演は、劇団にとって幾つかの意味があったと考えています。一つには、観ていただく方々に楽しんでいただくこと。二つには、初めての別役実作品、不条理劇への初挑戦。三つ目は、11 月に他界された渡辺さんの追悼。四つ目には、久々の「客演なし」の自主公演。五つ目には、新しいことにチャレンジする気持ちを再認識する「意識の改革」だったと考えています。新しいことにチャレンジする難しさと尊さを再認識できました。

そして六つ目は、ダブルキャスト。私の役である「男 2」は、柳沢さんとダブルキャストを組ませていただきました。稽古は参考になるし、セリフの解釈や動きなど悩みが共通できて非常に助かりました。しかし、柳沢さんの公演本番を観て、お客様の評価を聞いていると自分が失敗したらという気持ちが大きくなり、段々と緊張感が湧いて、不安な日々を辛く過ごしておりました。

大きな不安と緊張感の中、私にとっての初日を迎えました。ついに。

客席のライトが消え、いよいよ本番。スピーカーから町の雑音が会場内に響きます。徐々に会場が明るくなり、遂に始まりました。もう止まりません。その場から逃げ出したい程の緊張を抑えつつ自分の出番を待ちます。この時間が長くも短くも感じられる、何ともいえない時間でした。

そして出番の時が訪れます。浮浪者風の男 2 として黒幕から登場。

「おっと」。観客席が近い。お客様の入る前に何度も見ていた光景が、違う場所のように感じます。「こんなに近かったかな？」。

そんなことを思いつつ、最初のセリフ「あの…、も



ういいんですか?」。ちゃんとじゃなかったけど、言えた。良かった。

後は、稽古したことをお見せすることに夢中でよく覚えていません。

あの緊張。怖かった。でも、喜んでもらえて良かったなあ。楽しかったなあ。(京浜協同劇団員)

91 回公演「病気」

どんなシナリオをつくりませんか?

吉田 美佐子

和田庸子先生から「今度の公演は不条理演劇の『病気』ですよ!」と糊沢講師の勉強会チラシを手にした時に「これは面白い!」と直感しました。そこで、立ち稽古から見学を希望して演出家と俳優さんたちが、芝居を作り上げていく場を共有させていただきました。

個々の局面を葛藤しながら一つずつ打破していく。思いがけないケガなどのアクシデントも続出し、リアルな緊張感の中で稽古が進みました。

そして公演初日の劇団が一団となり、堂々たる演技でお客を迎えられました。千秋楽まで劇団のスタッフの一員として私を迎えていただき心から感謝しています。

「病気」の感想は、私も観られましたみなさまと同じように、肩書きや制服に弱く、ゆだね、萎縮する男 1。ハチャメチャで着ぐるみ盗まれるまでは笑えても、自分の居場所や存在さえ失う奇妙な恐さにはもう笑えません!

男 1 のような予備軍はあまりに多く、あのラスト



シーンの神様も、すっかり疲れ果てて救えるどころではなかったのでしょう。

この「病気」の台本は、もしかしたらわかりやすい。

「あなた病気じゃありません……?」と、応急救護所の看板、看護婦の制服を着た女 1 が声をかける。42 歳の生活に疲れた男 1 が、「私が……? いや……。でもどうして病気だなんて言ったんです……?」と立ち止まり、やがて否定の言葉と裏腹に自らが疑心を抱いていく。ほんの小さな不安の火種が、やがては自分を焼き尽くす自己虚構へと。

これは、私たちのいろんな日常パターンでも置き換えることができます。

もしかしたら、個人だけの問題だけでは解決されない「いのちよりお金」という価値観がなせる歪み。“社会的構造”なのかもしれませんね。

安倍政権が打ち出した「一億総活躍社会」だとするのなら、今の現実には「一億総病気社会」なのでしょう。

個人であるためには“内心的構造”で遅しくなりたい。

その一つとして「不安」の火種は早く消す。小さな不安をむやみに増長させて、自分から大惨事にさせない。そう心がけたいものです。

少し余談ですが、日常の生活で「人のエネルギー消耗」は、「不安と食事」だそうです。遭難者の死亡と生還の選択は、不安の中で死を待つのか、希望を抱き生きようと待つのかでは、大きく消耗が違い、生きるための選択が肝要だと! また、風邪や体力消耗の時は、消化の良い食を少量とし、余分な消耗をさせない。まずは心身の快復を優先する。健康な人でも「腹八分目」とは良薬なのですね。

京浜協同劇団が、不条理演劇を選んだ「病気」公演は「あなた病気じゃありません……」と問いかけられたとき、「あなたは、どんなシナリオをつくりませんか?」そう語りかけているのかもしれません。

(麦わら帽子の会・横浜市在住)

別役実作/藤井康雄演出『病気』を観て

不条理を不条理と感じられる感覚は持っていたい

山田 育代

今回の演目は別役実氏の『病気』。

なんと第 91 回公演! 歴史あるこの劇団が別役氏の作品を取り上げるのは初めてだとのこと楽しみにしていたが、ようやく 11 月 25 日の昼公演を観ることができた。リアリズムの旗主的存在の劇団が不条理劇を上演しようというのだから、かなり大胆な試みに違いない。

とはいえ私自身、別役氏の作品は 2、3 作品程しか知らず、氏の作品を語れるほどの知識も見識も無い。

感想を寄稿依頼されたものの、さて困ったな…というのが正直なところで、見当違いの感想になっていたらごめんなさい。

そもそも不条理劇とよばれるものは、物語を堪能し、登場人物に感情移入して涙し、感情が浄化され気持ち良く帰途につける芝居とは異なり、何かすっきりしないまま、気持悪さを引きずりながら、出口の見つからない迷路に入ってしまったもどかしさを抱えつつ劇場を後にせねばならない、そんな芝居だと私は思っている。

結果、まさにそんな芝居だった！ でも！面白かった！！ というのが率直な感想である。

最初は TV やどこかでやっているコントを観ているようで、親近感を覚える。

一見どこにでもいそうな看護師さんと男のやり取りが、噛み合うようで噛み合わず、でもテンポよく、クスリクスリと笑いを誘う。

不条理劇を見てるんだ！と身構えることなく、気楽に、自然に作品世界に入っていた。



でもそのうち段々と作品は薄気味悪さを呈してくる。もう 1 人の男の登場、医者、警官、引越し業者？の登場。

不変のものと信じて疑わなかったセットが、あれよあれよという間にリアカー 1 台に（それは手際よく）コンパクトに積み上げられ、舞台上から消え去ってしまう。そして残ったのは男 1 人とゴザ 1 枚…。ここ



のくだりは本当に見事！

もしや集団詐欺グループの仕業？ ぜーんぶ仕組まれていたこと?! そんなことを考えていると、舞台上を横切る一列の人々。

不気味さが確信めいてくる。今度は男 1 が別の男 X の人生を乗っとして、話は永遠に続いていくのかしら、など想像が膨らむ。

そして終盤、買い物袋を生活感たっぷりに提げた、背中に羽の生えてる天使の登場、おー、不条理だあ！

別役氏の作品の登場人物は固有の名前を持たないことが多いらしいが、この作品も同様だった。

それゆえ誰でも男 1 になる可能性があり、個々が番号で管理され、記号化されつつある今、私にも、明日にでも起こりうることなのではと考えると薄ら寒くもなった。

パンツ一丁の護柔氏の微笑ましい挨拶で人心地つき、外に出て懐かしい皆様にお会いして現実に戻る。でも帰り道、この不条理感ってある意味日常になってしまっているのではないのかな、とまた思考回路が迷路に突入してしまう。不条理を不条理と感じられる感覚は持っていたいなとも思う。

今なお新たなことにチャレンジし続けている劇団や先輩方にはいつもたくさんの刺激をいただく。この不条理劇を経ての次回作が今からとても楽しみだ。

(文化の仲間会員)

本の紹介

『皇軍兵士、シベリア抑留、撫順戦犯管理所』

絵嶋 毅 著 A5 判並製 336 頁 花伝社

皇軍兵士の 4 年、シベリア抑留の 5 年、撫順戦犯管理所の 6 年——撫順こそ、我が再生の地である。

撫順戦犯管理所で「戦犯」はなぜ人間性を取りもどすことができたのか。

問合せ・注文 受け継ぐ会神奈川支部・松山英司 (046-871-4263)

●直販限定価格 1900 円 (送料込み)



『心さわぐ憲法 9 条——護憲派が問われている』

大塚茂樹著 四六判並製 220 頁 花伝社

安倍首相の改憲構想にどう向き合うのか——川崎市在住のノンフィクション作家の著者が、憲法 9 条を守る立場から、市民の目線でどう考えたらよいのか、9 条をめぐる様々な見解や現実の状況から、考える視点を提起しています。

●ご注文はお近くの書店をお願いします。税抜き価格 1500 円



連載 「京浜協同劇団」と私——第3回

新しい活動の中での出会い 2

岡田 京子

●新しい活動とは

① 70年を迎えた私たち「音舞会」に、思いがけない依頼が舞い込みました。～高田馬場に「十一時館」というたごえ喫茶を作りたいが、その中の7時～8時を、好きなように使って良いから企画してみないか～ということなのでした。50坪ほどのフロアに、低いステージと40ほどの客席があり、音楽会の聞き手とは全く違うお客が目の前にいる、というわけです。その人達が、どんな時にどんな反応をするかということが、本当に手に取るようにわかるのです。

それはまさしく対話で、何をやるかというより、どういう気持ちをどう届けようとしているか、ということに大きく反応してくれた人たちとの出会いとなりました。クラシックだけではなく、シャンソン・ジャズ、フォークソング、詩の朗読、演歌、パントマイム、手品の人たちにも声をかけて、どのジャンルの人たちも生き活きと、無料出演をものともせず一生懸命舞台上に立ったのでした。みんなお客を求めているのです。私もここで、「アイヌに寄せる夕べ」とか、統一劇場と一緒に作った「ミュージカルナンバーの夕べ」などもやりました。

② 笠木透さん達との出会いもこの頃でした。ちょうどアメリカのフォークソングが日本にやって来た時代で

す。岐阜・中津川の農村で、長いこと自分の中に蓄えていたものが、いっぺんに自分たちのフォークソングとなって飛びだしてきた「笠木透と我夢土下座」のフレッシュな「わが大地の歌」を始めとする数々の輝いた歌たちとの出会いにゆさぶられたのです。

③ 演劇との出会い。これはそのとき始まったものではなかったのですが、既に関わっていた「統一劇場」というものがどんなものであるかということ、自分の音楽も含めて自覚したことは大きかったのです。それは、この劇団を注目して来られた哲学者の福田定良氏によってでした。定良氏は、「君たちの仕事はこうあってほしい、そこに面目があるからだ」といわれたのです。

芸術と娯楽の間にある
演劇と生活の間にある
専門家と素人之間にある
人間と人間の間にある

そしてこれらは、私の幼いときに出会い、あこがれ続けて来た、ロシア人たちの「生活と音楽」の中にある生き方だったのです。

第11回

お正月 お楽しみ会

日時 2018年1月14日(日) 午後2時から

会場 スペース京浜

出し物 腹話術ゴローちゃん、子ども腹話術、元気体操、ピアノであそぼう、獅子舞、朗読(花さき山)、輪投げ大会

ご近所の方に、気楽に劇団に足を運んでもらいたいという趣旨で始まった「お楽しみ会」も11回目を迎えます。

問合せ 京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間

〒212-0052 川崎市幸区古市場2-109 京浜協同劇団内

TEL 044-511-4951 FAX 044-533-6694



次回第 92 回公演に向けて 「おりん」——深沢七郎「楢山節考」をモチーフに 親しさが湧き上がってくるような仕上がりになりたい

京浜協同劇団 和田 庸子

60 年前のベストセラー「楢山節考」を芝居にしたらどうか？と企画提案したのは護柔一です。今年 3 月、提案理由をこう語りました。

「この作品の上演を思い立ったのは、平均年齢 68.5 歳という劇団の状況や（観客の半分はシニア券）現代の超高齢化社会を直視するとき、年金が削られ、老老介護に疲れた『心中』、『孤独死』、『下流老人』等々話題に事欠かない現実がある。ならばこれを逆手にとつて、シニアが共感できる作品を上演したらどうだろう。マスメディアも、老人福祉の問題、と話題にするだろう。脚本は和田庸子が書けばいい。安達元彦の音楽が全編に流れ……きっと感動を共有できるドラマになるだろう……」

私はこの小説を初めて読みました。

「山と山とが連なっていて、どこまでも山ばかりである一向う村のはずれにおりんの家があった。家の前に大きい樺（けやき）の根の切り株があって、切り口が板のように平たいので子供達や通る人達が腰をかけた重宝がっていた。だから村の人はおりんのことを『根っこ』と呼んでいた」「その日、おりんは待っていた二つの声をきいたのである」

簡潔な文章、凛とした強さのある小説だと思いました。真っすぐな命がここに在る。ほんの百年、二百年前の、日本の地面を這いつくばって生きた人間の声、唄、姿が、意外にもユニークに描かれている。上演するならタイトルは「おりん」にしようと考えはじめました。

『楢山節考』（ならやまぶしこう）は、民間伝承の棄老伝説を題材とした作品。山深い貧しい部落の因習に従い、年老いた母を背板に乗せて真冬の楢山へ捨てにゆく物語。自ら進んで「楢山まいり」の日を早める母・おりんと、優しい孝行息子との間の無言の情愛が、命のあたたかさ、生きるとはなにかを問いかけてきます。

当時 42 歳の深沢の処女作。1956 年（昭和 31 年）、雑誌『中央公論』11 月号に掲載され、第 1 回中央公

論新人賞を受賞。これまでに 2 度、映画化されています。

深沢七郎はおもしろい人だったらしい。ホールでコンサートを 18 回もひらくほどのギターの腕前を持ち、小説には自作の楽譜が掲載されているものもある。有名なラブミー農場を営んだり、今川焼屋をやったり、手作り味噌を販売したり……。生涯独身で「自分は母から出た屁のようなものだ」と言っていたそうです。

「楢山節考」に出会ってから、ドリアン助川の小説「あん」がしょっちゅうオーバーラップしてきています。映画は 3 回観ました（監督／河瀬直美 主演／永瀬正敏・樹木希林）。

風に揺れる樹々のなかで、樹木希林が演じる元ハンセン病患者の老女徳江さんが静かに語りだす。「私たちはこの世を観るために、聞くために生まれてきた。この世はただそれだけを望んでいた」と。何者かになろうなんて思わなくていい、生まれて生きることの意味があると。

私は、おりんも息子の辰平も村びとたちも、ハンセン病患者として生きた徳江さんも、私たちのいる現在に向かって歩いていると感じます。私たちが彼らに連なり、共に歩きはじめようとしています。2018 年秋に、どんな演劇として立ち現れて来るのか……。それをこれからじっくりつくりあげていきたいと思います。

まだ、演出も、配役も、舞台装置もなにも決まっていません。でも、舞台はなるべく大きく使いたい。役者が生身の身体と、心と、声を開放し、のびのびとした表現ができるような稽古を積み重ねたい。本番では、お客さんが思わずかけ声をかけたり、舞台にあがって踊ったり歌ったりしたくなるような、そんな親しさが湧き上がってくるような仕上がりになりたい……とイメージをふくらませています。文化の仲間みなさんにもナニかお願いしたくなるかもしれません。どうぞよろしくお願いします。

* * *

◎文化の仲間通信◎

◆東京演劇アンサンブル公演 銀河鉄道の夜

日程 12月22日(金)～25日(月)
22・25日14:00開演 23・24日19:00開演
会場 プレヒトの芝居小屋(西武新宿線武蔵関駅徒歩7分)
料金 前売 一般3800円 学生3000円 当日4500円
全席自由 申込み順に整理券発行
作 宮沢賢治/脚本・演出 広沢常敏/音楽 林光/出演
山崎智子・富山小枝・永濱渉・那須弘子ほか
ケンタウルス祭の夜、ジョバンニは不思議な旅をする。
決して引き返すことのない軽便鉄道にのって、本当のさ
いわいを見つけだす旅をする……。
問合せ・申込み 東京演劇アンサンブル 03-3920-5232
メール: ticket@tee.co.jp

◆人形劇団ひとみ座 特別公演

ぼくらのジョーモン旅行
日程 12月23日(土・祝) 11:00・14:00開演
会場 ひとみ座第1スタジオ
原案 藪野豊昭/脚本 中村孝男/演出 中村孝男・友
松正人/美術 田坂晴男
料金 前売 大人2000円 子ども1700円
ふたりの少年をモチーフに描くひとみ座の前史とも言
える青春ストーリー…
問合せ・申込み ひとみ座 044-777-2225 (10時～18時)

◆青年劇場公演 博士の愛した数式

日程 12月23日 14:00・18:30開演
会場 青年劇場スタジオ結
原作 小川洋子/脚本 福山啓子/演出 村上秀樹/出
演 島田静仁・亀井幸代・名川伸子・永田江里 ほか
料金 一般4500円 U30(30歳以下)3000円
中高生シート1000円
2006年に舞台化し全国で感動を巻き起こした作品が、
生まれ変わって帰ってくる。演出も出演者も一新した切
なくも心温まる舞台。
問合せ・申込み 青年劇場 03-3352-6922
http://www.seinengekijo.co.jp/ticket/ticket-top-hakase.html

◆合唱団いちばん星 第25回記念コンサート

みらいへ… あたらしい一歩を君と
日程 2018年1月8日(月・休) 14:30開演
会場 川崎市エポックなかはら (JR南武線中原駅)
指揮 山寺圭子/ピアノ 梅澤文子
曲目 オープニング(青い空は) 第1部 中田喜直の世界
(夏の思い出・雪のふるまちを ほか) 第2部 岩
手県大槌町キッズコーラス《あぐどまめ》がやってく
る(合同演奏・あぐどまめ演奏) 第3部 みんなで歌
おう 第4部 委嘱作品・初演(混声合唱組曲ヒロシマ)
料金 1500円 障がい者・小中高生300円
問合せ・申込み 090-8109-3829 (照井)
http://music.geocities.jp/ichibanboshi_2/

◆劇団民藝公演 神と人のあいだ

第一部 審判/第二部 夏・南方のローマンス
日程 2018年2月24日(土)～3月10日(土)
13:30または18:30開演・日程お問合せください
会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA
作 木下順二/演出 児玉庸策(第一部)・丹野郁弓(第
二部)/出演 内藤安彦・水谷貞雄・伊藤孝雄・安田正利・
今野鷄三・神敏将・千葉茂則 ほか
料金 一般6300円 25歳以下3000円
夜チケット5000円 (全席指定)
一部・二部通し券+パンフレット贈呈10000円
人は未来を急ぎすぎる。あまりに多くの未清算の過去

を残したまま……。壮大な構想による「神と人のあいだ」
二部作を、初めて一挙上演! 木下戯曲を貫く「未清算
の過去」。生涯をかけたテーマとして戦争責任の問題を追
及し、民藝に書き下ろされた二部作。
問合せ・申込み 劇団民藝 044-987-7711
(月～土10時～18時)
メール: seisaku@gekidanmingei.co.jp

◆劇団銅鑼創立45周年記念公演 第3弾

おとうふコーヒー
日程 2018年3月9日(金)～18日(日)
14:00または19:00開演・日程お問合せください
会場 東京芸術劇場シアターイースト
(JR山手線池袋駅西口徒歩5分)
作 詩森ろば/演出 青木豪/出演 千田隼生・谷田川
さほ・三田直門・井上太・久保田勝彦 ほか
料金 一般6000円 30歳以下4000円(全席指定席)
おとうふとコーヒーは認知症に効くって本当…? と
ある地域の特養ホーム。その成り立ちも、あり方もユニ
ークなこのホームでは、今夜ひとりの老人が最後のときを
迎えようとしている。静かな看取りの夜になるはずだっ
たその日、大きな台風が訪れる。橋の冠水により、ホー
ムは孤立無援に……。
問合せ・申込み 劇団銅鑼 03-3937-1101
(平日10時～18時)
メール: info@gekidandora.com

◆腹話術 ゴローちゃん 出演日程

・臨港中学校区地域教育会議講演会
2018年1月27日10:00～ 川崎市教育文化会館
・腹話術の会きずな 発表会
2月18日13:30～ 川崎市総合自治会館

●城谷さんの著書 発売1ヵ月半で増刷!

前号紹介の城谷護(腹話術芸名しろたにまもる)さん
の著書『腹話術でいこう!』が、反響が大きく、初版が
売切れてしまい増刷されました。価格・販売方法に変更
があります。第1巻「ゴローちゃんの旅日記」1500円、
第2巻「腹話術の基礎講座と台本集」2500円、DVD「腹
話術の基礎講座」「講師の実演」1500円です。3点セット
の場合は、合計5500円のところ、セット価格4500円です。
問合せ・注文 044-544-3737 城谷さんまで

■文化の仲間ギャラリー■ 大谷 敏行③

「厳選」大谷敏行の川柳塾
死の商人 鎧よろい隠さず やって来た
二〇一七年一月二六日・赤旗日曜版掲載
一円を 拾い財布に さりげなく
格闘技 土俵の中で 観せるもの
無知蒙昧 軽佻浮薄 「朝日死ね」
パッと咲き パッと散ったよ 百合の花
前号で誤植(傍線部分)がありました。再掲します。
友逝きし独来独去無一随 渡辺高志さん逝去
度し難し狂気の沙汰の銃社会 アメリカ最悪のテロ